

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	東洋医学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1 年		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
漢方薬の理論的な基盤である「東洋医学」の概略について学ぶ。 それにより、漢方薬の安全かつ効果的な使用法や、登録販売者試験の当該範囲問題への理解度を高めることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点：20 % 授業態度・課題の提出状況・提出物への評価点：10 % 期末課題への評価点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
「東洋医学」や「漢方」や「中医学」について扱ったネット記事・テレビ番組・書籍などに目を通してみる。						
《履修に当たっての留意点》						
我々の先祖の健康の支えとなってきた東洋医学に対し、興味・関心を持っていただけたなら幸いです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	「証」という専門用語を自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	特に無し。	
		各コマにおける授業予定	漢方の特徴 漢方薬使用における基本的な考え方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	「気血水」と「虚実」という専門用語を自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。	
		各コマにおける授業予定	「気血水」と「虚実」について簡易な「問診」と「弁証」の実践			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	「気・精・血・津液」の生成と循環について自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。	
		各コマにおける授業予定	「気・精・血・津液」の生成と循環について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	「気・精・血・津液」の作用について自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。	
		各コマにおける授業予定	「気・精・血・津液」の作用について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学的に意味の有る問診事項について学び、自分に当てはまる症候を列挙することができる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。	
		各コマにおける授業予定	詳細な「問診」の実践 「弁証」の実践についての紹介			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	「問診」で得られた自分の症候を、該当する「気・精・血・津液」の病変に分類することができる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「気・精・血・津液」の病変とその時に現れる症候について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学における「五臓六腑」の働きについて理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「五臓六腑」について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「問診」で得られた自分の症候を、該当する「臓腑」の病変に分類することができる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「臓腑弁証」について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学における「外感病因」という考え方について理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「外感病因」について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	「表証」について理解し、カゼで漢方薬を服用する際の適切な使い分けができるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「表証」について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学における「内傷病因(飲食不節や労逸)」について理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「内傷病因」の中の「飲食不節」や「労逸」について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学における「内傷病因(情志や内生五邪や外傷)」について理解し、自分の言葉で説明できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	「内傷病因」の中の「情志」や「内生五邪」や「外傷」について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学の診察法である「望診」について理解し、実践できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	望診法の学習・実践・記録		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学の診察法である「脈診」について理解し、実践できるようになる。	配布プリント	配布プリントを使った復習や、図書室やインターネットを使った発展学習。
		各コマにおける授業予定	脈診法の学習・実践・記録		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	期末課題にて60%以上の理解度を表現することができる。	配布プリント	期末課題の完遂に向けた準備。
		各コマにおける授業予定	期末課題		